



? (なんで) には
つづきがあった!!
さあ、しらべてみよう!



にやんでたろう



せんせい
フクロウ先生

しら がくしゅう 調べ学習ってどうやってするの？

ホーホー、^{わたし}私はフクロウ先生^{せんせい}
しら がくしゅう
調べ学習がわからないきみたちに
しら がくしゅう
調べ学習をするときのポイントを
おし
じゅんばんに教えてあげよう。



ぼく、にやんでたろう。
しら がくしゅう
調べ学習ってむずかしそうだニャ…。
でも、フクロウ先生^{せんせい}といっしょに
がんばるニャン！

しら がくしゅう なが 調べ学習の流れ

1. ^{しら}調べる「テーマ」を^き決めよう
↓
2. 「きっかけ」と「よそう」を
^か書こう
↓
3. ^{しら}調べてみよう
↓
4. ^{しら}調べた^{ないよう}内容をメモしよう
↓
5. まとめよう

1. 調べる「テーマ」を決めよう



「テーマ」ってなに？

「テーマ」ってどうやって決めるの？

「テーマ」って自分が調べたい「もの」のこと!!
もちろん自分の好きなことを「テーマ」にしてもいいのでア～ル。

前からフシギに思っていたことはなかったか
思い出してごらん。

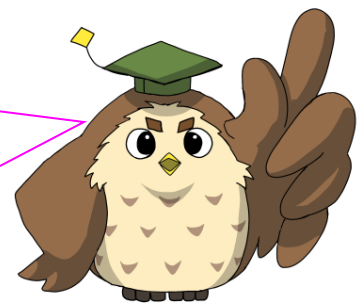


あっ、思い出した！

「テーマ」は、前からずっとフシギだった
この「テーマ」に決めた！！

調べるテーマは自由！

自分が面白いと思ったものや、楽しんで
調べられるものにするのでア～ル！！



テーマを決めるときの注意！！

*ほかの人が「へーえ！」「おもしろーい！」と思うかどうか考えてみよう。

*なるべく自分で調べることができるテーマにしよう。



テーマは決めたけど、^{なに}何から^{しら}調べたらいいのかわからないや…。
わからないし、やっぱり^{しら}調べ^{がくしゅう}学習やめとこうかな…。



あきらめたら、ダメだニャン！！
ふくろう^{せんせい}先生^{おし}が教えてくれるよ！！
いっしょにがんばるニャン！！
ふくろう^{せんせい}先生～。

^{なに}何から^{しら}調べたらいいのかわからないってときは、
まずその「テーマ」についてもう少しくわしく
^{かんが}考えてみよう。

「テーマ」を^{つか}使って^{さいご}最後に「？」が^{ぶん}つく文に
してみれば、^{しら}なにから^{はじ}調べ始めたらいいいのかが
わかってくるのでア～ル！



「？」が^{ぶん}つく文って…なんだ??
どうやって^{つく}作るんだニヤ?
さっぱりわからないニャン。

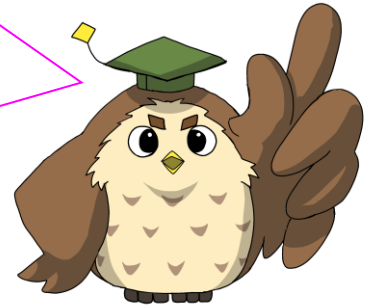
ぼくもわからないや…。



そんなきみたちに、かんたんに「？」がつく^{ぶん}文^{ぶん}をつく^{つく}ほうほう^{ほうほう}おし^{おし}作^{つく}る方法を教^{おし}えるぞ！！

まずは、『百科事典』でテーマを調^{しら}べるんだ。
調^{しら}べたページの中^{なか}に、きみが気^きになる言葉^{ことば}はなかつたかな？

気^きになった言葉^{ことば}をぜんぶ書^かき出^だすのでア～ル！

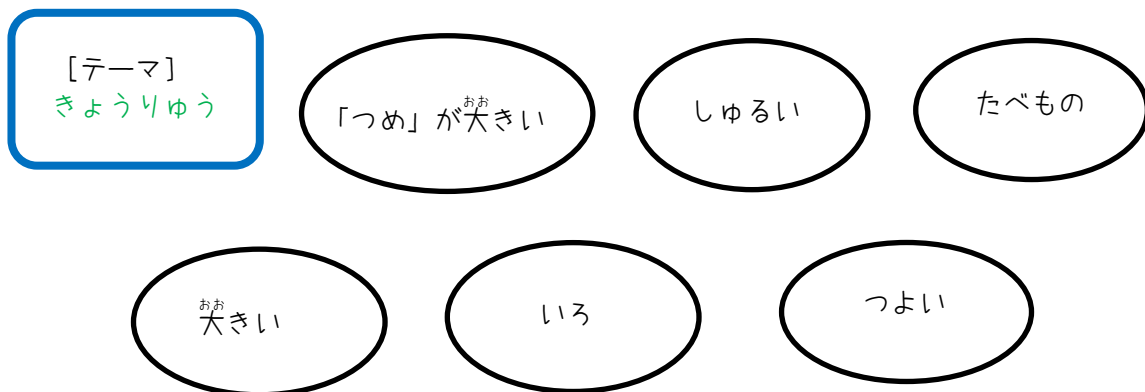


れい
<例>

【きょうりゅう】を調^{しら}べたい！と思^{おも}ったら、

【きょうりゅう】について気^きになる言葉^{ことば}を書^かき出^だしてみよう。

百科事典^{ひゃっかじてん}からでなく、自分^{じぶん}で思^{おも}いついた言葉^{ことば}でも大丈夫^{だいじょうぶ}だよ。



テーマと気^きになった言葉^{ことば}をつか^{つか}って「？」のつく^{ぶん}文^{ぶん}を作^{つく}ろう！！

- 【きょうりゅう】
- どんな【しゅるい】のきょうりゅうがいたのかな？
 - なにを【^た食べて】いたのかな？
 - きょうりゅうの【^{おお}大きさ】はどれくらいかな？

2. 「きっかけ」と「よそう」を書こう^か



「きっかけ」ってなに？



「よそう」ってなにをよそうするの？

「きっかけ」って、少し^{すこ}むずかしかったかな。
このテーマをえらんだ「理由^{りゆう}」を^か書いておけば、それが
「きっかけ」になるんだ。
調^{しら}べるテーマを決めたら、なぜ^ききみはそのテーマをえら
んだのかも^か書いておこう！それが「きっかけ」でア〜ル。



じゃあ、「よそう」って？



調^{しら}べた結果^{けっか}はこうかもしれないなあ〜と、
「よそう」も^{いっしょ}一緒にしてみよう！
なぜそんなふう^{いっしょ}に「よそう」したのかも^{かんが}一緒に考^{かんが}える
と頭^{あたま}の中^{なか}が整^{せいり}理されて、なに^{しら}から調^{しら}べたらいいのか、
どこをどうやっ^{しら}て調べていけばいいのか、
だんだんわかってくるのでア〜ル！



3. 調べてみよう



なにを^{つか}使って^{しら}べるの？

^{しら} 調べて^{ほうほう}方法は、いろいろあるんだが…
^{こんかい}今回は、3つの^{しら} ^{かた} ^{しょうかい}調べ方を紹介しよう。



^{しら} 調べて^{ほうほう}方法 (1)

★^{ちか}近くの^{としょかん}図書館や^{がっこう}学校の^{としょしつ}図書室でいろいろな^{ほん}本や^{しんぶん}新聞を^{つか}使って^{しら}調べる

ポイント

- 1冊の本を読んで知りたかったことが、ぜんぶ書いてあってもぜったいにほかの本も読んでみよう！
- ちがうことが書いてあることもあるから、たくさんの本を使って調べようね。

^{しら} 調べて^{ほうほう}方法 (2)

★インターネットを^{つか}使って^{しら}調べる

ポイント

- インターネットで書いてあることは、本当かどうかわからないよ！
まちがったことが書いてあることもあるので、^{こた} ^み答えが見つかって、
ほかのページとくらべてから^{こた} ^か答えを書こうね！

しら ほうほう 調べる方法 (3)

★自分のテーマにあった方法（見る、聞く、自分でためしてみる、自分でやってみる）で調べてみよう！

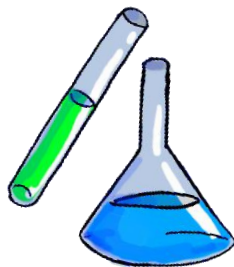
かんさつ しら
—観察する、自分でやってみる—

はな き むし
花や木・虫・どうぶつなどを調べる時は、
かんさつ しら
観察をしたり、どうぐなどを使って自分でやっ
てるのもいいね！
おも
思うようにいかないことも、しっばいすることも
あるかもしれないけど、大切な答えだから、
かならずメモしておくんだぞ！



—はくぶつかん、どうぶつえん、しりょうかんなどに行ってみる—

じつぶつ
実物をさわってみたり、いろいろなものを自分の目
で見ると、もっともっというんな考えが出てくる
こともあるよ。見たときに感じたことや思ったこ
とは、ぜったいメモしておこう！
さいごにまとめるときに、きっとやくにたつぞ！
おうちの人におねがいして、どこかへつれていっ
てもらおう！



—くわしい人に聞いてみよう—

自分が調べたいと思っていることにくわしい人がいたら、手紙を書いてみよう！もしかしたら、返事がかえってくることもあるかもしれないぞ。
もし会って話を聞くときは、会う前に聞くことをまとめておこう。



*インタビューやアンケートをするときは、気を付けよう！

インタビューなどで話を聞かせるときは、必ず「作品にのせてもよいか」「名前をのせてもよいか」を相手の人に確認しようね！

もし、写真ものをせたいときには、「写真をとってもよいか」「写真を作品にのせてもよいか」を相手の人に確認しよう！

また、写真をとってもよい場所かどうか、周りにも気を付けようね。



許可が必要なときは、必ず許可をもらってから写真をとろうね！

作品にとった写真をのせるときは、「いつ、だれがとったか」を書いておこうね。

<例>



2017年8月1日 お母さん撮影

4. 調べた^{しら}答えを^{こた}メモしておこう

メモのやり方^{かた}なんて…かんたんよ！
わかったことをノートに^か書いていけばいいんでしょ？



え？ノート？
どうせ^{あと}後でもう^{いちど}一度まとめるんだから
どんな紙^{かみ}でもいいじゃん！

まて！まて！！メモは^{だいじ}大事なんだぞ。
うまくメモしておけば、^{じぶん}自分の^{さくひん}作品を^{つく}作る時
すぐ^{らく}楽に^{つく}作れるのでア〜ル。



へえ〜。メモ1つでそんなに^か変わるのかニヤ？
なんか^か書きやすいメモ用紙^{ようし}があればいいのに…。

そういう^{おも}と思って、^{つく}作っておいたぞ！！
^{しら}調べている^{こた}答えの^{じょうほう}情報をメモしておくから、
なまえは「^{じょうほう}情報カード」でア〜ル。



*** 「情報カード」を使おう！**

* 調べていることの答えが書いてあったところを、「情報カード」に書いていこう。この「情報カード」に書けば自分の作品を作るときに役に立つよ！

* その答えをなにで調べたのか、かならずいっしょに書いておこう！ほかの人が見たときに、なにを使って調べたのかがわかるように、自分の作品のさいごにぜんぶいっしょに書くことになっているよ。調べるときに使ったものによってメモしておく場所がちがうから、くわしくはP. 16～を読もう！

なんだかむずかしそう…



なにをどう書けばいいのかわかんないよ。



みんなで教えてもらうニャン！！

上から順番に使い方を説明するぞ。
書き方の例もあるからそれを見ながら書いていけばかんたんなのでア～ル！



わからないことを1つ調べたら、この「情報カード」
1枚を使ってメモしていくんだぞ。
1枚の「情報カード」に調べたことを2つも3つも
書いていくのではなく、この「情報カード」をコピーして
いっぱい調べて「情報カード」をふやしていくのでア〜ル。



<例> 情報カードの書き方

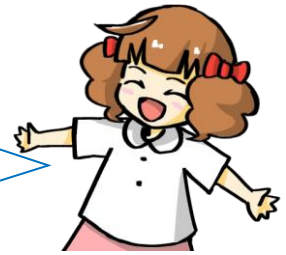
自分が今から調べることを書こう!!

調べた日にちを書こう

NO. 1 29年 7月 1日 (土)

テーマ	きょうりゅうはなにを食べていたのかな?
今から調べること	きょうりゅうが食べていたのは肉だけ?
調べてわかったこと	<p>本に書いてある文章は「著作権」という決まりで守られているから自分の作品に自由には使えないよ。</p> <p>本や新聞・インターネットなどにのっている文章をそのまま使いたいときは本からぬきだしたことがわかるように「」で文章をかこもう!</p> <p>ぬき出さずに、自分の言葉で文章にして書くのはOKだよ!</p>
自分の感じたことや考えたこと	<p>「調べてわかったこと」を見つけた時に自分がどう思ったか、何か他に気になることはなかったか、どんなことでもいいので、少しでも書いておこう。</p>

「調べてわかったこと」とその答えを見つけたときの
「自分の感じたこと」を書いておけばいいのね！
わかったわ！



でもその下にまだメモする場所があるよ。
「参考文献」？
なんだこれ？？

調べるときに答えがのっていた本や新聞・インターネット
のページなどのことを「参考文献」というぞ。

ほかの人が自分の作品を見たときにどんなもので調べた
のかがすぐにわかるように、「参考文献」をぜんぶいっし
よに書いた「参考文献リスト」を自分の作品につけること
になっているのでア〜ル。

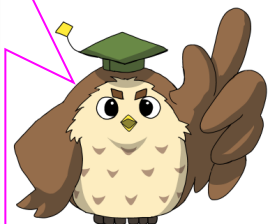
図書館の本を使って調べたときは、本を図書館に返す前に
必ず「参考文献」をメモしておくのでア〜ル！

くわしくは、P. 16〜を見るのだ！



本や新聞やインターネットなど調べたものによってメモし
ておくところがちがうから「情報カード」は、3種類用意し
ておいたぞ。

自分が使ったものによってどの「情報カード」を使ったら
良いのかをえらぶのでア〜ル！！



^{ほん} ^{つか} ^{しら}
【本を使って調べたとき】
^{じょうほう}
情報カード (^{したしら} ※^{つか} 下調べのときにコピーして使おう)

NO, ^{ねん} 年 ^{がつ} 月 ^{にち} 日 ()

テーマ
^{いま} ^{しら} 今から調べること
^{しら} 調べてわかったこと (^{ほん} ^だ ^{ぶん} ^か (本からぬき出した文には「」をつけて書きましょう)
^{じぶん} ^{かん} ^{かんが} 自分の感じたことや考えたこと

答えがのっていた資料 (参考文献)	本・雑誌	^{ほん} ^{なまえ} 本の名前
		^{ほん} ^か ^{ひと} ^{なまえ} 本を書いた人の名前
		^{ほん} ^だ ^{かいしゃ} ^{なまえ} 本を出した会社の名前
		^{としょかん} ^{ほん} ^は ^{ばんごう} ^せ 図書館の本に貼ってある番号のシール (背ラベル)
		^{ほん} ^{とし} 本ができた年
		^{ほん} ^か ^{としょかん} ^{なまえ} 本を借りた図書館の名前
		^{こた} 答えがのっていたページ P. ~ P.

【新聞を使って調べたとき】

情報カード (※下調べのときにコピーして使おう)

NO, 年 月 日 ()

テーマ
今から調べること
調べてわかったこと (新聞からぬき出した文には「」をつけて書きましょう)
自分の感じたことや考えたこと

答えがのっていた資料 (参考文献)	記事の名前
	記事を書いた人の名前
	新聞の名前
	朝の新聞 (朝刊) / 夜の新聞 (夕刊)
	答えが書いてあった新聞 (記事) の日にち
	新聞を見た図書館の名前
	答えがのっていたページ P. ~ P.

【インターネットを使って調べたとき】
 情報カード (※下調べのときにコピーして使おう)
 NO. 年 月 日 ()

テーマ
いまから調べること
調べてわかったこと (インターネットからぬき出した文には「」をつけて書きましょう)
自分の感じたことや考えたこと

答えがのっていた資料 (参考文献)	インターネット	答えが書いてあるページのURL
		答えが書いてあるページの名前
		答えが書いてあるサイトの名前
		答えが書いてあるページを作った人の名前
		答えが書いてあるページが更新された日にち
		インターネットを見た図書館の名前
		答えが書いてあるページを見た日にち



じょうほう 情報カードに「しらべてわかったこと」も
じぶん かんが 「自分の考えたこと」も書けたニヤ～

した 下の「さんこうぶんけん 参考文献」のメモするところも
くわしく おし 教えてほしいニヤ～

よし、わかった！

しゅるい じょうほう 3種類の「情報カード」は、しらべるときになにをつか
で「情報カード」をえらぶのはさっきせつめい説明したな。

ほん つか 【本を使ったとき】、【しんぶん 新聞をつかったとき】、【インター
ネットをつかったとき】、それぞれのメモの書き方をじゅんばん
にせつめい説明していくぞ。

み これを見ながら「さんこうぶんけん 参考文献」のメモをしていこう！

インターネットのメモの書き方は、少しむずかしいかも
しれんのお…。

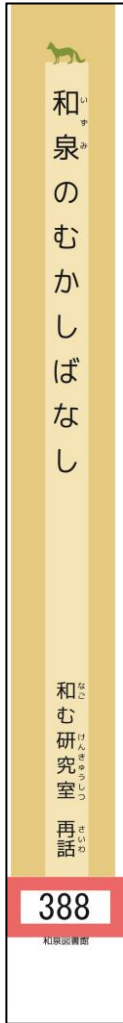
もしわからなければ、おとな ひと き 大人の人に聞いてみよう！



一 答えが書いてあった本のメモの書き方

本のさいごのページを見てみよう。その本を作った人のことが書いてあるよ。
その中の大切な5つのことをメモしておこう！

- ① 本を書いた人の名前（著者名）
- ② 本の名前（書名）
- ③ 本を出した会社の名前（出版社）
- ④ 本ができた年（出版年）
- ⑤ 本を借りた図書館の名前と図書館の本に貼ってある番号のシール（背ラベル）



② **和泉のむかしばなし**

④ 平成 26 年 5 月 15 日 第 1 刷発行

① 再 話 和む研究室
発 行 者 太田勝久

③ 発 行 所 和泉市立和泉図書館
指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒594-0071
大阪府和泉市府中町一丁目 20 番 1 号
電話 0725-44-3071

印刷・製本 ちよ古つ都製本工房

©2014 Nagomu Kenkyushitsu Printed in Japan

<例> 情報カードの書き方

答えがのっていた資料（参考文献）	本・雑誌	本の名前 和泉のむかしばなし
		本を書いた人の名前 和む研究室
		本を出した会社の名前 和泉市立和泉図書館
		図書館の本に貼ってある番号のシール（背ラベル） 388
		本ができた年 平成26年5月15日
		本を借りた図書館の名前 TRC和泉図書館
		答えがのっていたページ P. 15 ~ P.

一答えが書いてあった新聞のメモの書き方一

新聞に答えが書いてあったら、下の6つのことをメモしておこう！

①記事を書いた人の名前

↑記事の最後に名前が書いてなければ書かなくていいよ

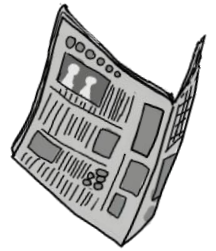
②記事の名前

③新聞の名前

④答えが書いてあった新聞（記事）の日いち（〇〇年〇月〇日）

⑤朝の新聞（朝刊）と夜の新聞（夕刊）のどっちに書いてあったか

⑥答えが書いてあった記事は、どのページだったか



一答えが書いてあったインターネットページのメモの書き方一

インターネットに答えがあったら下の6つをメモしておこう！

①答えが書いてあるページを作った人の名前

↑もしかしたら、団体の名前だったりすることもあるよ

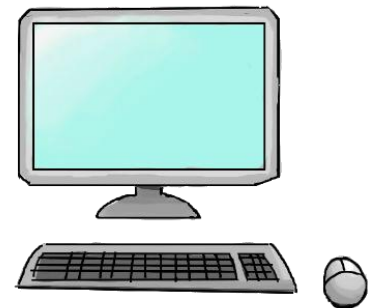
②答えが書いてあるページの名前

③答えが書いてあるサイトの名前

④答えが書いてあるページが更新された日いち

⑤答えが書いてあるページのURL

⑥答えが書いてあるページを見た日いち



「情報カード」にぬき出した文章が書かれていた本や

新聞・インターネットも参考文献なのでア〜ル。

忘れずにメモしておくのだぞ！！



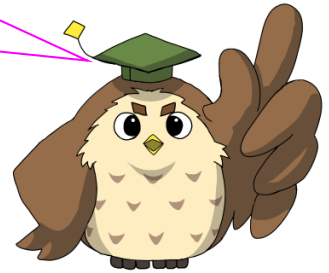
はい！！





もし1つのテーマを調べているときに、
調べるものに困ったときはどうしたらいい？

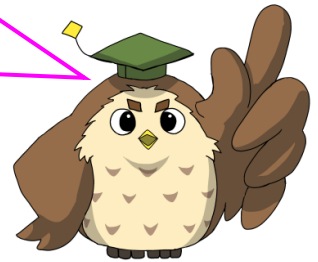
困ったときは1つのテーマの周りのことも
調べてみるとヒントが見つかることがあるぞ！



わからないところは、大人の人に聞いてみるのでア～ル！

5. まとめよう

ぜんぶ調べ終わったら、調べたことを自分の考えで
まとめて、写真やイラストを使ってオリジナルの
作品を作ろう！



* 作品を作るときの決まり！！

- * 作品に使う用紙は、最大B4サイズの大ききで作ってね。
もし、模造紙など大きな紙で作る場合は、折りたたんで出してね。
- * ページは50ページ以内で作ろう。
ページがバラバラになってもみんなが読めるように必ずページ数は
書いておいてね。
- * 目次・参考文献リストは、必ずつけることになっているよ！
ただし、目次・参考文献リストはページ数に入らないから気をつけてね。
- * 作品を作るときには2B以上の濃いえんぴつを使ってね。
色えんぴつなどでイラストの色をぬるときにも、なるべく濃く色を
ぬってね。

応募カードも忘れずに書くのだぞ！

応募カードは、作品の裏にのりやテープで貼りつ
けておけば大丈夫なのでア～ル。



① タイトル・なまえ

『タイトル』

たの 楽しい びょうし 表紙を
つく 作ってみよう！

がっこうめい ねん 組 学校名 ○年○組 なまえ

② もくじ

もくじ

はじめに …p. ○
○○について…p. ○
△△について…p. ○

おわりに …p. ○
さんこうぶんけん 参考文献…p. ○

③ はじめに

はじめに
(きっかけ・よそう)

なにを しら 調べようと
おも 思ったのか
テーマをえらんだ理由

しら 調べる まえ 前のよそう

④ 自分が調べたこと

しら 調べたこと

◆まとめるコツ◆

- ・何をどんな風に調べたのか、調べていく中で思ったことや大変だったこと、うれしかったことやほっけんしたことを書こう。
- ・むずかしい言葉は、わかりやすい言葉に変えようね。
- ・絵や写真も入れてみよう。
- ・実験や観察をしたときは、その方法やそのときどんな様子だったのかも書こう。

⑤ おわりに

おわりに

わかったこと
かんが 考えたこと
かんそう 感想 など

⑥ 参考文献リスト

さんこうぶんけん 参考文献リスト

このしおりの
p. 22 を見てね

わからないときは
おとな ひと 大人のひとといっしょに
つくってね。

* 参考文献リストの書き方 *

調べる学習コンクールの作品には他の人が見たときに何の本を使って調べたかわかるように必ずさいごのページに「参考文献リスト」をつけることになっています。これがないと作品は完成しないよ！

情報カードにメモしておいた「参考文献」を見ながら、「参考文献リスト」を記入していこう！

（「参考文献リスト」の用紙は【図書館振興財団】ホームページにある、調べる学習コンクールのページからダウンロードできるよ！わからないときにはおうちの人に手伝ってもらってね。）

<参考文献リスト記入例>

参考・引用文献リスト (本を参考にした場合)		作品名: 調べる学習コンクールのしおり				
		あなたの名前: 和泉図書館				
NO.	著者名	書名	出版社名	出版年	ページ	図書館名 とせいきゅう記号
1	赤木 かん子 文 すがわら けいこ 絵	図書館へいこう! 3 テーマって...どうやってきめるの?	ポプラ社	2007年8月		和泉図書館 015
2	紺野 順子 文 こば ようこ 絵	シリーズわくわく図書館 3 図書館でしらべよう	アリス館	2010年9月		和泉図書館 010
3	赤木 かん子 著	調べ学習の基礎の基礎	ポプラ社	2006年2月		和泉図書館 017
4	赤木 かん子 著 m i t t y 絵	本で調べてほうこくしよう	ポプラ社	2011年1月		和泉図書館 015
5		図書館の学校 2013年夏号	図書館 振興財団	2013年6月		和泉図書館 雑誌
6	和む研究室 再話	和泉のむかしばなし	和泉市立 和泉図書館	2014年5月	P. 14	和泉図書館 雑誌
7	赤木 かん子 著 塩谷 京子 著	しらべる力をそだてる授業...	ポプラ社	200...		和泉図書館 017

ページは、本から文を
ぬきだしたときだけ書くよ!

● ていしゅつ まえ 提出する前にチェック！！

- ひょうし さくひん 表紙に、作品のタイトル・学校名・学年・なまえを書いた？
 - かく すう 各ページのページ数をつけた？
 - もくじは書いた？
 - “テーマを決めたきっかけ”や“よそう”は書いた？
 - “どうやって調べたか”を書いた？
 - ほん ぶんしょう 本からぬきだした文章は「」でかこんだ？
 - しら かん たいへん 調べてみて感じたこと（大変だったこと、うれしかったこと）を書いた？
 - さんこうぶんけん ほん つか 「参考文献」はいくつかの本を使った？
 - さんこうぶんけん かん か 「参考文献リスト」を書いた？
 - しら としょかんめい か 調べた図書館名を書いた？
 - うらびょうし おうぼ は 裏表紙に応募カードを貼った？
- おうぼ としょかん つか しら がくしゅう 応募カードは「図書館を使った調べる学習コンクール」のチラシにあるよ。
わす は 忘れずに貼ってね！

チェックしたら8月1日（土）から9月25日（金）までに、

応募先（TRC和泉図書館・TRCシティプラザ図書館

TRC北部リージョンセンター図書室・TRC南部リージョンセンター図書室）

へ持ってきてね！

かんせいっ☆

